

研究計画書

① 研究の名称

産後出血に対するクリオプレシピテートの早期投与の有効性に関する検討

② 研究の実施体制

研究機関： 東京都立墨東病院

研究責任者： 産婦人科 兵藤博信

研究分担者： 輸血科 藤田浩 西村滋子

産婦人科 森谷方良 齋藤悦子 布施由紀子 彦坂慈子 船倉翠

砂川空広 久具宏司

③ 研究の背景、目的及び意義

産後出血に対してクリオプレシピテート（クリオ）使用により、輸血量、輸血副作用である容量負荷、入院日数を減少させたことを報告してきた。一方、外傷領域では、病院到着後 90 分以内のクリオ使用が生命予後を改善させるとの報告がある。当院で、クリオ使用された産後出血の中で、早期・晚期使用との比較を行い、早期投与の有効性を検証する。

④ 研究の方法及び期間

平成 25 年 3 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日の症例について、診療録から既存の情報を得る。

⑤ 研究対象者の選定方法

当院発生、および他院より搬送の産後出血症例の中で、クリオプレシピテートの投与を受けたもの

⑤ 研究に関する研究成果の方法

日本産婦人科・新生児血液学会会誌に原著論文として投稿
および平成 29 年 6 月の同学会学術集会で発表